

目 次

はじめに

目 次

例 言

第1部 惣ヶ池遺跡の研究

和泉の「高地性集落」の基礎的分析

—眺望分析をめぐる惣ヶ池遺跡の成立意義や母集団議論を要として—

森岡秀人・宇佐美智之 …… 1

和泉地域北部における弥生時代中期後半から後期の集落動態

—環濠集落から高地性集落へ—

上田裕人 …… 31

大阪府和泉市惣ヶ池遺跡 SI6005 出土の微小鉄片について

真鍋成史 …… 47

惣ヶ池鏡の保存処理及び3次元測量を応用した画像処理について

須山貴史 …… 59

惣ヶ池遺跡出土小形仿製鏡に関する二、三の考察

上田裕人 …… 73

惣ヶ池遺跡—第1次発掘調査の報告

上田裕人 …… 85

鶴山地区信太山遺跡（その2）調査概報

和泉市教育委員会 …… 97

第2部 大野池遺跡の研究

大野池遺跡 弥生高地性集落の調査

乾 哲也 …… 107

第3部 資料編

和泉市域における弥生時代中期後半から後期の竪穴建物集成

上田裕人 …… 139

例 言

1. 本書は大阪府和泉市北部に位置する信太山丘陵に所在する弥生時代高地性集落「惣ヶ池遺跡」「大野池遺跡」に関する考古学的な調査・研究の成果を纏め、和泉市史紀要第34集として刊行するものである。
2. 本書第1部には惣ヶ池遺跡に関連する論考を掲載した。第2部に平成12年に和泉市教育委員会で実施した大野池遺跡の発掘調査成果を掲載した。第3部に市内の竪穴建物を集成した。
3. 本書作成に当たり宇佐美智之氏（京都芸術大学）、森岡秀人氏（公益財団法人古代学協会）、真鍋成史氏（交野市教育委員会）、須山貴史氏（株式会社イビソク）より玉稿を賜った。執筆者は目次及び表題に示した。
4. 本書第1部に惣ヶ池遺跡の第2次調査の概報を転載した。
5. 本書の編集は和泉市教育委員会文化遺産活用課の乾哲也・上田裕人が行なった。